

1. 事業の位置付け

事務事業名	ベンチャー企業創出事業		
事業担当	経済部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	③〈新しい芽〉リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'01	1 新しい産業が芽生え、育つ環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	新たに事業を創出する起業家	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
新産業の創出を図るため、次世代の産業の担い手育成や企業家への意識が高まっています。		次世代の産業の担い手となる起業家及び新産業の創出と育成を図るため、産業情報の提供や研修会などの開催を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	講演会を開催した高校数			単位	校
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	3	3	2		
	実績	3	3	2		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	創業塾参加者数			単位	人
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	40	40	40		
	実績	39	35	41		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	継続することにより受講した高校生が増え、起業に対する意識付けが広まっていくために必要性は高いと言えます。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	将来性の高い高校生を対象にキャリア教育を通じて、起業の意識付けをすることは有効です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	起業家精神の導入として妥当性があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	自ら起業した人を講師として依頼しており、学校ごとに柔軟な講演が可能であるため効率性が高いと言えます。	○ 高 ● 中 ○ 低	

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		産業情報の提供、講演会などの開催支援	産業情報の提供、講演会などの開催支援	産業情報の提供、講演会などの開催支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	30	45	30
事業費 (A)		30	45	30
執行率 (%)		100.00	150.00	100.00
内訳	職員 (人)	0.16	0.16	0.16
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		1,343	1,343	1,337
フルコスト (A+B)		1,373	1,388	1,367

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -
	主な取組と成果	295人の高校生が講演会を受講し、起業家精神の導入としての効果があった。また、創業塾(定員40人)では、ほぼ定数に近い参加者があった。*	市内2校の高校で講演会を開催するとともに、夏休みを利用したインターシップ参加生徒を対象に、創業意識の事後講座を開催し、起業家精神の導入としての効果がありました。また、創業塾(定員40人)では、9割近くの参加者がありました。*	市内2高校で職業講話を実施し、就職や創業に対する意識啓発を行うことができました。
検証結果		A: 成果があがった	B: おおむね成果があがった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		受講した高校生の中で、将来起業した人の割合をどのように捉えてゆくのかを研究する。	受講した高校生の中で、将来起業した人の割合をどのように捉えてゆくのかを学校とともに研究します。	起業家の育成及び新産業の創出を図るため、融資制度を含めた産業情報のより効果的な周知方法を検討します。